

2020年11月25日
ニッセイ情報テクノロジー株式会社

2020年度「IT賞」における『IT賞（社会課題解決領域）』の受賞について

ニッセイ情報テクノロジー株式会社（社長：矢部剛、以下「NISSAY IT」）は、公益社団法人企業情報化協会（IT協会）が主催する2020年度（第38回）「IT賞」において、『IT賞（社会課題解決領域）』を受賞しました。

NISSAY ITでは、世界に類を見ない超高齢化社会であるわが国において、健康寿命の延伸を目的に、認知症予防ソリューションに取り組んで参りました。その一環として、高齢者が気軽に認知症対策へ取り組めるiPadアプリ「暮らしの脳トレ」を開発し、介護施設への導入や自治体における認知症予防プログラムでの活用などを通じて、社会課題解決に取り組んでいます。

今回の受賞は、「暮らしの脳トレ」を中心とする認知症予防対策ソリューションの取り組みとして、以下の点が評価されたものです。

- ・ 専門家や現場での調査をもとに、「高齢者が明るく認知症予防ができる手段（ツール）」の開発に取り組んでいる
- ・ 一般的な単なる「脳トレアプリ」の開発・提供でなく、専門家や自治体、メディアを巻き込んだエビデンスベーストな認知症予防活動となっている
- ・ 超高齢化という社会課題に対して産学官を巻き込み、ITによる解決に挑戦している

なお、表彰式典ならびに受賞記念講演は、2021年2月4日（木）・5日（金）に開催される「第36回IT戦略総合大会（ITMC2021）」にて行われる予定です。

以上

「IT賞」について

わが国の産業界ならびに行政機関などの業務における事業創造、効果的ビジネスモデルの構築・促進、生産性向上等、“ITを高度に活用したビジネス革新”に顕著な努力を払い成果を挙げたと認めうる企業、団体、機関および個人に対して、公益社団法人企業情報化協会が授与するもの。38回目となる今回は、計44社37件が受賞しました。

▽詳細はIT協会のホームページをご参照ください。

<https://www.jiit.or.jp/im/award.html>



■NISSAY IT の認知症対策への取り組み

認知症対策は大きな社会課題として広く周知されていますが、認知症予防の取り組みはいまだに確立されていません。NISSAY IT では、音声で操作できる健康増進プログラム「テレビで健康増進」を開発し、介護施設入居者様向けの実証実験や意識調査を行ってきました。この取り組みを通じて、高齢者は従来のパズルや計算能力・瞬発力を問う脳トレには苦手意識を抱くケースが多いことを認識し、そこで得られた知見から、高齢者が使いやすく、認知症予防への取り組みを長く継続できるよう、高齢者に配慮した設計の認知症予防アプリ「暮らしの脳トレ」を開発しました(図1)。当アプリは認知症の専門家である朝田隆氏(医師 医療法人社団創知会理事長)に監修いただき、一般的な脳トレとは一線を画した脳トレとなりました。

<図1：高齢者が使いやすいユーザーインターフェース設計>



■官民への普及促進の取り組み

「暮らしの脳トレ」は、成田市の『「人生をカッコよく」プロジェクト』の脳トレアプリとして採択されました。また、日本生命の既契約者向けに、脳の健康につながるコンテンツとして採用されています(図2)。その他、高齢者との接点が多い民間企業との協業を通じて、認知症予防の普及に取り組んでいます。

<図2：日本生命の既契約者向けサービス>

新登場 暮らしの脳トレ

ウォーキングと、脳トレへの挑戦を組み合わせることで、毎日、楽しく気軽に、身体と脳の健康につながる事が期待できます。

認知機能をつかさどる4つの領域からバランスよく出題!

短期記憶 | 視空間認識 | 注意力 | 推論力

- 楽しみながら脳の活性化につながる!
- 毎日3問ずつ出題されるのであそびに楽しめる!
- 認知症の第一人者 朝田隆医師が監修!

参加方法

STEP1 アプリアップページ右上の「お知らせ」をタッチ

STEP2 「脳トレ」タブを選択

契約者・被保険者様限定

(ウォーキングアプリ「aruku& (あるくと)」内で提供。※aruku&は、株式会社 ONE COMPATH の登録商標です。)